



みんなでがんばろう ● 日本


 2021 年度 年次報告書
 GREAT EAST JAPAN EARTHQUAKE RECOVERY INITIATIVES FOUNDATION

公益財団法人東日本大震災復興支援財団





代表理事

伊石 勝義

東日本大震災から11年が経ちました。多くの方にご支援いただき、これまで活動してこれましたこと、改めて御礼申し上げます。

当財団は、子どもたちとその家族を支援する活動を行ってまいりましたが、これまでの活動を通して感じること、東北の復興再生には、その地域をより良くしたいという「想い」を持って精力的に活動する人がさらに多く必要だということです。

昨年発足した、福島県浜通りに特化した「HAMADOORI フェニックスプロジェクト」は、震災を経験した年代である若者への応援事業です。現在、4団体5名が第一期生として福島県浜通り地方の発展のため活動しています。その他にも、文学と映像の力で東北を元気にしようという「MIRAI 文学映像賞」の募集も今年4月に開始しました。若者らしいアイデアを活発に実践し、これからの東北には無限の可能性のあることを全国へ発信していただけたらと思います。

また、当財団は東北の将来を見据えた支援として、団体が当財団の支援から独立して活動できるように、これまで培ってきた縦・横のネットワークや人的資源、事業ノウハウなどを継承するなど、自助努力の底上げのための支援も行っています。

その時々に必要な支援を行うことはもちろん、これからの東北に必要なことは何か、私たちは、皆さまから預かりたい想いが込められたご寄付を届けながら日々邁進してまいりたいと思います。

引き続き心温まるご支援を何卒お願い申し上げます。

専務理事
池田 昌人

日頃当財団の活動にご支援・ご協力賜り誠にありがとうございます。震災から11年が経ちました。財団立ち上げ当初から関わり、東北の子どもとその家族のためにどのような支援が必要か、考え行動したこれまでを振り返ると多くのことが思い出されます。東北の皆さまが感じる課題や要望について、小さな声も見落とさず、できる限り耳を傾けることを心掛け活動してまいりましたが、この11年で当財団の中間支援団体としての活動も円熟し、そして、復興支援をけん引するリーダーや団体の輩出にも貢献できていると感じます。これからも地域ごとに異なる課題等を見逃さず、東北の皆さまに寄り添いながら活動してまいりたいと思います。東北の未来ある子ども、若者のために、引き続きご支援くださいますようお願いいたします。

理事
佐藤 大吾

東日本大震災から10年以上が経過しました。この間、当財団にご寄付くださったすべての皆様により感謝申し上げます。被災された方の中にはすでに生活を立て直し、新たな日常を過ごしておられる方も多くいらっしゃる一方、まだまだ被災による困難を抱えておられる方もおられます。当財団が重点を置く福島県での人材育成応援事業などを通じて、これからも未来を担う子どもたちに寄り添いながら、東北での活動に取り組んで参ります。これからもご支援くださいますようお願い申し上げます。

監事
大城 聡

東日本大震災から12年目を迎える中、日頃より当財団の活動に対するご理解とご協力をいただいていること改めて感謝申し上げます。当財団では、まなべる基金や子どもサポート基金など子どもを中心に支援してきました。震災から10年以上の時間が流れる中、支援を受けてきた子どもたちが東北の復興を担う世代へと成長しています。みなさまの復興に対する想いが次の世代の豊かな生き方につながるように、監事として責任をもって関わって参ります。引き続きお力添えをいただけますようお願い申し上げます。

当財団の理念

復興支援を通じて、次の世代が幸せに暮らす社会の創生に貢献する。

目指すビジョン

子どもたちが夢と希望を育む環境を実現する。

設立～2022年3月末まで

支援額合計

43.99 億円

支援者数合計

約83,500人と664団体

※詳しい支援活動の内容は、中面をご覧ください。

活動のあゆみ



福島県浜通りの未来のための起業家応援事業「HAMADOORI フェニックスプロジェクト」を開始



福島県浜通り地域での新しい産業創出と移住・雇用の創出を図ることを目的に起業家応援事業「HAMADOORI フェニックスプロジェクト」を2021年8月12日に開始しました。

本プロジェクトは、福島県浜通り地域の新しい「まちづくり」のために、この地域で独自の産業や事業を創出したい若者起業家を支援するための応援事業で、第一期は4団体5名の若者起業家への支援が決定しました。

▼第一期採択者および事業内容

起業家氏名	年齢	事業概要	活動場所	補助年数
佐藤 太亮 (株式会社 haccoba)	29	生産者の方とともに実践的なお酒を醸造するシェアブルワリー	浪江町	3
志賀 風夏 (秋風舎)	27	古民家カフェ経営およびコワーキングスペースの創出、ワークショップなどの開催、EC サイト運営	川内村	3
野地 雄太 (Beyond Camp)	26	オンラインとオフラインを融合した中高生向け留学体験プログラムの運営	浪江町	3
松本 奈々 矢野 淳 (合同会社 MARBLING)	29	商業跡地での農業・文化芸術、ワークショップなどのテナント活用	飯館村	3



▲1月19日認定証授与の様子。左から、矢野淳さん（飯館村）、野地雄太さん（浪江町）、志賀風夏さん（川内村）、佐藤太亮さん（浪江町）

また、第二期の募集を2022年6月1日から7月29日の期間で行っています。

本事業を通して、浜通り地域での起業が活発となり、立ち上げた事業がこの地域の帰還者や移住者の後押しとなることで、ひいては将来の子どもたちの未来の発展に寄与することを期待します。

※詳細は公式HP (<https://hamadoori13.or.jp/>) をご覧ください

18歳から33歳の作品を対象とした「岩手・宮城・福島MIRAI文学賞・映像賞」を支援



MIRAI 文学賞・映像賞実行委員会が企画・運営する「岩手・宮城・福島 MIRAI 文学賞・映像賞」で寄付支援を行っています。

「岩手・宮城・福島 MIRAI 文学賞・映像賞」とは、18歳から33歳の若者を対象とした文学および映像を募集する企画イベントで、東日本大震災等で多大な被害のあった3県の復興創生に寄与する作品を広く周知し、観光・産業分野に貢献することを目指しています。

運営主体である実行委員会は、岩手大学、東北大学、石巻専修大学の他、若手社会人で組織される一般社団法人 ONE TOHOKU HUB などの若者で構成・実行され、募集作品とともに次世代の東北を担う若者に活躍してもらうことを狙いととしています。

【募集期間】2022年5月1日(日)～2022年11月30日(水) 23時59分
 【募集作品】文学賞：12,000文字以内 映像賞：3～5分の短編作品 ※いずれも未発表作品
 【対象者】3県(岩手・宮城・福島)の出身、在住、在住歴がある、訪問経験がある等何らかの縁のある18歳(高校生不可)～33歳以下の方。
 ※詳細は公式HP (<https://miraiaward.jp/>) をご覧ください



学べるしあわせをみんなに
高校生対象給付型奨学金
「まなべる基金」

給付型奨学金 まなべる基金



東日本大震災の影響により家庭の経済状況が変化し、就学や進学が困難、また、経済的な理由により、学校生活に支障をきたす高校生のための返還不要の奨学金制度です。高校入学から卒業までの間、最大57万円を給付しています。高校生向けの給付型奨学金制度が少ない中、進学・就学が困難な状況においても学ぶことをあきらめない高校生を応援し続けています。

支援総額 **15.8億円** 支援者数 **3,019人**
※2022年3月までの支給実績額

連携団体
◎NPO法人ジービーパートナーズ



支援のお礼メッセージ

震災の大変な時期にも関わらず、自分や兄弟たちに不自由さを感じさせることなくいつも応援してくれた両親、家族には本当に感謝しています。そして、楽しく充実した高校生活を送ることができ、夢の実現のためサポートしてくれた寄付者の皆さんにも本当に感謝しています。自分の目指す将来の夢に近づけていただき、本当にありがとうございました。自身の夢である消防士になり、少しでも地域に貢献すること、そのことが応援して頂いたことへの恩返しだと信じています。幼い頃からの夢である消防士になることができたなら、東日本大震災の時のように多くの犠牲者を出さないように自分の震災の経験を傳承し、故郷を守っていきたくたいです。
(岩手県大船渡市出身/2022年3月卒業)

支援活動団体向け助成
子どもサポート基金

子どもたちの成長を支える団体の活動をバックアップ 子どもサポート基金



東北の子どもたちの支援活動に取り組むNPOやボランティア団体への助成を行っています。団体が継続して活動できるよう、複数年にわたる助成を行うとともに、組織の基盤強化をサポートし、希望を持ってたくましく成長できるような健康づくりを推進しています。

支援総額 **11億円** 支援団体数 **454団体**
※2022年3月までの支給実績額



助成団体のメッセージ

障がいの有無を越えたボーダレスアートスタジオを運営しています。震災直後から東北3県の沿岸部でアートやものづくりを通じた「心の復興」に取り組んできました。障がいのある子どもの家族から届いたSOSをきっかけに、仙台に障がい児者の居場所となるボーダレススタジオの開設に至りました。震災から10年を機に東北に根付くため東京から移転し、現在は仙台を拠点に大船渡や南相馬での活動も続けています。震災を経験した子どもたちは成長し、ボランティアとして活動を支えるようになりました。これからも東北で、命と心に向き合う子どもたちの応援に「アートの力」で取り組んで参ります。どうか引き続き、活動を応援下さい。温かなご支援を、本当にありがとうございました。
(団体名:NPO法人ワンダーアート(ARTS for HOPE) 活動支援場所:宮城県仙台市・岩手県大船渡市・福島県南相馬市)

東北「夢」
応援プログラム

自ら行動する力を育み、未来の東北を担う人材を目指す 東北「夢」応援プログラム



東北に所縁あるトップアスリートや専門コーチたちの指導を通じて、東北の子どもたちの夢や目標の実現に向けて「主体的に計画・行動できる力」を育み、将来の東北を担う人材育成を目指します。本プログラムでは、専門コーチたちは現地訪問による対面指導だけでなく、ICTを活用した動画指導を用いることで、子どもたちが自ら掲げた目標の実現を継続的に応援しています。

支援総額 **1.59億円** 支援件数 **1,495人**

※2022年3月までの支給実績額

協力団体
◎ソフトバンク株式会社 (動画指導で活用する通信機器を専門コーチ等へ貸出)



支援団体のメッセージ

震災から11年が経ち、震災を知らない子どもたちも増えていきます。夢応援プロジェクトを通じ、当時の教訓を伝えつつ、子どもたちの心身の発達に付与する活動ができたことに感謝申し上げます。当地域の未来を担う子どもたちの成長と発展を担う活動を行っています。引き続きご支援の程よろしく願い申し上げます。
(団体名:気仙沼バスケットボール少年団 活動支援場所:宮城県 気仙沼市)

地域や人と交流しながらさまざまなプログラムに挑戦する

福島子ども未来塾



福島県の未来を担う人材の育成を目指し、自然体験や郷土文化の学習、国際交流など、1年をかけて総合的な体験活動を提供しています。仲間と一緒に寝食を共にし、さまざまなチャレンジを重ねながら、福島の未来や自分自身の将来を描きます。

支援総額 **6,450万円** 支援者数 **1,701人**

※2022年3月までの支給実績額

主催
◎独立行政法人国立青少年教育振興機構
連携団体
◎一般財団法人UNITED SPORTS FOUNDATION
◎NPO法人じぶん未来クラブ など



助成団体のメッセージ

福島子ども未来塾を通して一番考えさせられたことは、東日本大震災の被害や復興についてです。東日本大震災については、家族から大地震だったということを知ってはいましたが、浪江町、双葉町を実際に見たことで東日本大震災の恐ろしさを改めて痛感しました。また、未来塾に参加していなかったら、東日本大震災のような大きな地震が起こった時に、とにかく避難するぐらいしか行動しかとれなかったと思います。しかし、未来塾で勉強したので救命救急等の他の行動もとれるようになりました。また、困っている人や環境のことを考える大人になりたいと思いました。このようなことを含め未来塾に参加して成長できたと思います。これらを今後の日常生活にも生かしていきたいです。(福島子ども未来塾参加小学生)

話す・つながるをサポート

18歳まで携帯料金サポート



震災で保護者を亡くした子どもたちが、身近な人と話し、つながるためのコミュニケーションツールとして携帯電話の料金をサポートしています。子どもたちが18歳になるまでの間、電話会社に関わらず、携帯電話やスマートフォンの料金を毎月1万円までお支払いし、子どもたちを含むご家族の経済的な負担を軽減します。

支援総額 **1,995万円** 支援者数 **57人**

※2022年3月までの支給実績額



地域と向き合う若者の活動を支援し、東北に活気と変化を創造する

ユースアクション東北



地元の復興や活性化に取り組む高校生や大学生の活動を支援しています。活動費用の助成の他、活動の実現に向けて助言や協力をしてくれる「伴走者」も紹介し、東北に更なる活気が生まれていくことを目指します。

支援総額 **500万円** 支援件数 **35団体**

※2021年度活動実績なし



助成団体のメッセージ

(子どもたちに星空を届けたい!)という思いから始まった私たちの移動式天文台プロジェクトはコロナ禍で活動の継続が困難になりました。そんな中でもあきらめずに活動を継続するために、YouTube Live でのオンライン観望会を開催しました。人とつながることが難しい現状ですが、オンラインを通じて多くの人と星空を楽しむことができ、これまで得られなかった人とのつながりも得ることができました。コロナ禍だからできないのではなく、その状況だからこそ取り組むべきことは何か?ということを考えながら、これからも子どもたちに学びの場を提供していきたいと思ひます。
(宮城県名取市/名取天文台)



福島県浜通りの未来のための起業家応援事業

HAMADOORIフェニックスプロジェクト



福島県浜通りは、地震と津波、福島第一原子力発電所事故という多重災害により甚大な被害を受け、復興に時間を要しています。HAMADOORIフェニックスプロジェクトは、福島県浜通りで起業したいという地域貢献意識を強く持ち、地域のリーダーとなりうる若者を応援するための起業家応援事業です。

支援総額 **3,456万円** 支援件数 **4団体**

※ 第一期生一年目の支給予定額

協力団体
©HAMADOORI13
※募集受付や交付決定者および団体への伴走などを主体となり実施



主体団体からのメッセージ

東日本大震災、福島第一原子力発電所事故から11年が経ちます。さまざまな課題を抱える福島県浜通りですが、みなさまからのあたたかいご支援のもと、新しい取り組みをスタートすることができました。ほんとうにありがとうございます。この地域の子どもの未来の発展に寄与できるよう引き続き取り組んでまいります。引き続きご支援いただくと幸いです。
(一般社団法人HAMADOORI13)

その他の支援活動

将来、東北の復興を担う人材の育成など、他にもさまざまな支援活動を行っています

一般社団法人田部井淳子基金

東北の高校生たちと夏休みに富士山に登り、自然の素晴らしさを体験してもらいながら挑戦する力や仲間と協力する力などを高める活動を支援

NPO法人おおふなと市民活動センター

大船渡市内の高校生がプロデュース・実施する市内イベントを支援
※新型コロナウイルス拡大の影響により今年度の開催は中止

魂に響くギフトコンサートの会

音楽の力で福島県内の子どもたちの心のケアを行う活動を支援

独立行政法人 国立青少年教育振興機構

福島の高生が地域づくりや地域の課題解決などに関する体験活動を支援

文楽を楽しむ実行委員会

福島県内の小・中学校で開催する文楽体験教室を開催し、伝統芸能に触れる機会を提供

小牛田高等学園フラダンス部

フラダンス部の活動を支援するとともに、財団への募金活動をしていただく相互支援を実施

難聴児支援相談「えがお」

難聴児とその保護者の養育相談支援施設における児童のための物品購入支援

当財団に関する情報を発信しています。ぜひご覧ください。

東日本大震災復興支援財団

検索



公式ホームページ
http://minnade-ganbaro.jp/



公式フェイスブック
https://www.facebook.com/ganbarojp

2021年度 財務報告

皆さまのご寄付・ご支援が、私たちの取り組みにつながっています。

2021年6月1日から2022年5月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	14,492	15,089	△ 597
受取利息	14,492	15,089	△ 597
受取寄付金	246,236,873	210,711,671	35,525,202
受取寄付金	246,236,873	210,711,671	35,525,202
雑収益	12,269,844	20,451,246	△ 8,181,402
受取利息	618	618	0
助成金返金益	6,207,627	3,554,106	2,653,521
寄付金返金益	6,031,599	16,896,522	△ 10,864,923
その他雑収益	30,000	0	30,000
経常収益計	258,521,209	231,178,006	27,343,203
(2) 経常費用			
事業費	216,490,591	180,177,388	36,313,203
旅費交通費	1,256,665	1,009,994	246,671
賃借料	6,146,916	5,866,400	280,516
業務委託費	5,980,401	6,797,362	△ 816,961
支払手数料	905,666	2,174,861	△ 1,269,195
支払助成金・支払寄付金	201,944,572	163,257,177	38,687,395
まなべる基金	25,805,500	21,386,750	4,418,750
子どもサポート基金	79,955,000	71,755,000	8,200,000
18歳まで携帯料金サポート	542,881	753,279	△ 210,398
ユースアクション東北	284,611	363,902	△ 79,291
福島人材育成支援(福島こども未来塾)	26,000,000	13,000,000	13,000,000
東北「夢」応援プログラム	15,844,800	24,658,450	△ 8,813,650
起業家応援事業	34,560,000	0	34,560,000
その他の寄付	18,951,780	31,339,796	△ 12,388,016
その他の事業費	256,371	1,071,594	△ 815,223
管理費	26,400,929	28,305,956	△ 1,905,027
給料手当	3,874,908	3,874,908	0
業務委託費	5,169,484	5,434,664	△ 265,180
通信運搬費	2,427,367	2,698,803	△ 271,436
支払報酬	3,570,050	3,588,750	△ 18,700
出向負担金	6,085,274	6,387,732	△ 302,458
設備管理金	1,747,397	1,222,653	524,744
賃借料	1,324,512	1,588,116	△ 263,604
その他の管理費	2,201,937	3,510,330	△ 1,308,393
経常費用計	242,891,520	208,483,344	34,408,176
評価損益等調整前当期経常増減額	15,629,689	22,694,662	△ 7,064,973
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	15,629,689	22,694,662	△ 7,064,973
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	15,629,689	22,694,662	△ 7,064,973
一般正味財産期首残高	60,137,097	37,442,435	22,694,662
一般正味財産期末残高	75,766,786	60,137,097	15,629,689
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	1,336,300	51,628,402	△ 50,292,102
受取寄付金	1,336,300	51,628,402	△ 50,292,102
一般正味財産への振替額	△ 124,473,807	△ 115,937,114	△ 8,536,693
一般正味財産への振替額	△ 124,473,807	△ 115,937,114	△ 8,536,693
当期指定正味財産増減額	△ 123,137,507	△ 64,308,712	△ 58,828,795
指定正味財産期首残高	1,456,275,320	1,520,584,032	△ 64,308,712
指定正味財産期末残高	1,333,137,813	1,456,275,320	△ 123,137,507
III 正味財産期末残高			
	1,408,904,599	1,516,412,417	△ 107,507,818

※ 当財団は、有限責任監査法人トーマツの会計監査を受けております

団体概要

団体名 公益財団法人東日本大震災復興支援財団
 設立日 2011年6月14日
 人員構成 評議員6名、理事7名、監事2名
 評議員 寺島 実郎 一般財団法人 日本総合研究所 会長
 小宮山 宏 株式会社 三菱総合研究所 理事長
 村井 純 慶應義塾大学 教授
 中村 伊知哉 iU (情報経営イノベーション専門職大学) 学長
 藤原 和博 教育改革実践家
 青野 史寛 ソフトバンク株式会社 専務執行役員 兼 CHRO

代表理事 立石 勝義
 理 事 佐藤 大吾 NPO法人ドットジェイピー理事長
 大橋 智哉 税理士法人 山田&パートナーズ シニアマネージャー
 藤原 睦朗
 中村 聡宏 千葉商科大学サービス創造学部 准教授、
 一般社団法人日本スポーツマンシップ協会 代表理事・会長
 池田 昌人 ソフトバンク株式会社 コーポレート統括 CSR本部 本部長
 吉田 千亜
 監 事 齋藤 博之 ソフトバンクグループ株式会社 内部監査室 内部統制グループグループ長
 大城 聡 東京千代田法律事務所弁護士
 会計監査人 有限責任監査法人トーマツ

※ 2022年8月時点

ご寄付のお願い

当財団では、皆さまからのご寄付を受け付けております。お預かりした寄付金は被災地の子どもたちの支援のため、大切に活用させていただきます。ご寄付の方法については、下記または当財団のホームページをご覧ください。

財団の活動全般へのご寄付

銀行振り込み

当財団が行う支援活動全般へのご寄付です。いただいた寄付金は、被災地の子どもたちを支援するための活動に100%役立ててまいります。

みずほ銀行 大手町営業部 (112)
普通預金 3514117

公益財団法人東日本大震災復興支援財団
(コウエキデザインハウス ヒガシニホンデザインサイフック
ウシエンデザイン)

ヤフー！ネット募金



※寄付をするには Yahoo! JAPAN ID の取得 (無料) が必要です。

つながる募金 スマートフォンから

SoftBank の スマートフォンから その他の スマートフォンから



※ SoftBank のスマートフォンをお使いの方は、携帯電話料金と一緒に寄付金をお支払いいただけます。
※ SoftBank のスマートフォン以外をお使いの方は、「つながる募金」のページ経由でクレジットカード決済となります。

寄付の税制優遇措置について

当財団へのご寄付は、税制優遇を受けられます。



- ※ 1 個人住民税の対象は、全国一律ではありません。詳しくはお住まいの都道府県税事務所・各市町村の徴収窓口までお問い合わせください。
- ※ 2 法人の申告については、その法人の資産や所得の金額によって限度額が異なります。各法人の経理部門または最寄りの税務署へお問い合わせください。

※ 2020年10月16日以降に当財団に入金されたご寄付は従来の「所得税控除」に加え「税額控除」も適用されることとなりました。

ご寄付についての詳細は、当財団 HP をご覧ください
<http://minnade-ganbaro.jp/shien/donation/>



2021年度にご寄付をいただいた皆さま (敬称略・50音順)

※1回の寄付金額が10万円以上で、承諾をいただいた方を掲載させていただいております。

アイティメディア株式会社	株式会社 KTS コーポレーション	鈴木千恵子
秋葉 公子	株式会社サンテックス	東京都立荒川商業高等学校全日制生徒会 東京都立荒川商業高等学校定時制生徒会
SBクリエイティブ株式会社	株式会社 ZERO PLUS	東武動物公園
SB C&S株式会社	株式会社東北フジパン 仙台工場	成田山深川不動産
大関株式会社	株式会社ナチュラルプランツ	パティスリー ウルソン
加藤塗装工業株式会社	株式会社ファンケル (株主優待制度を通じた株主様からの寄付)	HARIO株式会社
株式会社R・EMBLEM(RKSRICKY)	株式会社リミックスポイント	福岡ソフトバンクホークス株式会社
株式会社エイトラス	株式会社Links会計事務所	マルヤ産業株式会社
株式会社カンセン	絆マラソン実行委員会	山崎製パン株式会社
株式会社グッドパッチ	共栄株式会社	有限会社ダスキン十和田
株式会社 工藤パン	写真家 HIRO KIMURA 写真展「HERO1」	有限会社ノースエンジニアリング

寄付者の皆さまからのメッセージ

東京都立荒川商業高等学校



足立区小台にある都立商業高校です。地域に根ざした商業高校で、ビジネスに関する学習を特色として実践し、開校以来、実社会に多くの人材を輩出してきました。本校は2022年3月をもって、長い歴史に幕を閉じました。今回、閉校にあたり、本校生徒会で「東日本大震災復興支援」に寄付をさせていただくことを決めました。お役に立てれば幸いです。

みんなで
がんばろう
日本 ●

公益財団法人東日本大震災復興支援財団

info@minnade-ganbaro.jp

東京事務所

〒105-7535 東京都港区海岸1丁目7番1号
東京ポートシティ竹芝オフィスタワー 35階

東北事務所

〒983-0852 宮城県仙台市宮城野区榴岡一丁目1番1号
JR仙台イーストゲートビル 3F WeWork 内



この印刷物は、復興支援の一環として、福島県の印刷会社に、デザイン制作および製造を依頼し発行したものです。

2022年8月発行